

# 自動運転バス公道実証運行の実施結果について

## 1 事業概要

### (1) 背景と目的

全国的に公共交通は、ドライバーの高齢化や人手不足が深刻化し、サービスの維持が困難な状況となっています。そこで、国は、自動運転サービスの実現に向けて自治体や企業へ支援を行うなど様々な取組を実施しています。

本市においても、将来に渡って公共交通の維持・確保を図ることを目的に、自動運転バスの導入に向けた取組を進めています。

今年度は、静岡県が進める「しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト」と連携し、「新富士駅～富士駅」と「富士見台」の2か所で、公道での自動運転レベル2の実証運行を実施し、実現に向けた検証を行いました。



### (2) 運行期間

令和7年1月15日(水)～21日(火)

※富士見台ルートは、1月16日(木)は、富士見台小学校の児童を対象とした貸切運行として実施

### (3) 運行箇所

新富士駅～富士駅ルート(静岡県事業/しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト)

富士見台ルート(富士市事業)

遠隔コントロールセンター(富士市役所2階 市民ホール)

※静岡県が実施する「しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト」と連携し、県内初となる異なる箇所を運行する2台の自動運転バスを同時に遠隔監視

### (4) 運行事業者

東急株式会社

※2021年から、静岡県の自動運転実証事業「しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト」の受託事業者として、県内各所における自動運転実証運行の実績をもつ。

### (5) 運行体制

富士急静岡バス株式会社の運転士が、講習を受け、実証運行期間中の自動運転バスの運転士として従事

### (6) 運行車両

グリーンスローモビリティ(時速20km未満で公道走行可能な電気自動車)

(7) 運行ルート

<新富士駅～富士駅ルート>

新富士駅富士山口と富士駅南口を結ぶ片道約 1.8km のルート



<富士見台ルート>

富士見台まちづくりセンターを起点とし、マックスバリュ入口や市営住宅、富士見台小学校などを経由し、富士見台まちづくりセンターに戻る 1 周約 2.1km のルート



(8) 乗車人数

<新富士駅～富士駅ルート> 延べ 369 人

<富士見台ルート> 延べ 354 人

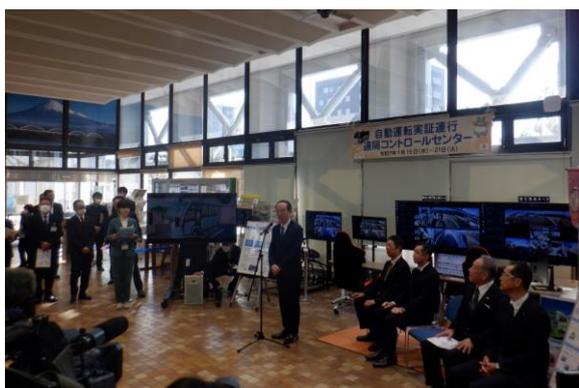
(富士見台小学校の貸切運行 166 人を含む。)

※実証運行期間中は、市民だけでなく、富士市長、副市長をはじめ、県議会議員、市議会議員など多くの関係者も自動運転バスに乗車しました。

## 2 実施状況

両ルートとも乗車予約が早期に埋まるなど、実証運行期間中は、多くの市民の皆さまに自動運転バスに乗車していただくとともに、自動運転の技術について知ってもらう良い機会となり、社会受容性の醸成を図ることができました。

また、乗車した方には自動運転バスに非常に興味を示していただき、自動運転の仕組み等について質問され、スタッフが説明しました。乗車後には、ほとんどの方から「乗車してとても楽しかった」、「将来に導入されるのを期待する」などの前向きなご意見をいただきました。また、遠隔コントロールセンターを市役所に設置したことで、乗車しなかった方にも自動運転技術や導入効果などを知っていただくきっかけとなりました。



出発式（市長挨拶）



出発式（新富士駅発着所との現場中継）



出発式（出発！の唱和）



出発式（報道陣）



遠隔コントロールセンター（監視の様子）



遠隔コントロールセンター（見学の様子）



自動運転バス（新富士駅富士山出口発時）



自動運転バス（富士駅南交差点通過時）



自動運転バス（富士駅南口待機時）



自動運転バス（富士駅南口待機時）



自動運転バス（富士見台ルート走行時）



発着所（富士見台まちづくりセンター）



富士見台小学校での貸切運行（1/16 実施）



自動運転バス（富士見台小学校外周通過時）